

# 元寇で落命 武将ら慰霊

## 対馬 神楽や武者行列

鎌倉時代の元寇(文永の役)で命を落とした対馬の守護代・宗資(助国)ら八十数人の武将を慰霊する大祭が13日、対馬市厳原町の海岸一帯に侵攻。これを小



武者姿で練り歩く氏子ら

茂田浜で資国らが迎え撃ち、全滅したと伝えられる。神事には宗家の子孫で36代目にあたる宗中正さん(56)(千葉県柏市)も参列。国選択無形民俗文化財の巫女神楽「命婦の舞」などが奉納されたほか、武者姿の氏子らが浜辺まで練り歩いた。浜辺では、神官が沖に向かって弓矢を放つ儀式を繰り返し、氏子らが「エイエイ、オー」と氣勢を上げた。

一連の神事を見守った日本法制史が専門で京都産業大名誉教授の所功さん(74)は「鎮魂と感謝の気持ちを込めて静々と進められていたのが印象的だった」と話していた。